佐賀平野の農業と住民生活を守る「クリーク」整備の推進

九州農政局筑後川下流右岸農地防災事業所長
塚元　重光

新年あけましておめでとうございます。平素より農林水産行政及び筑後川下流右岸農地防災事業へのご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の「令和3年8月豪雨」は、佐賀県内に甚大な被害をもたらしました。コロナ禍で大変な状況にある中、被災された方々には心からお見舞い申し上げます。佐賀県内の多くの市町で大雨特別警報が発令されたことを受け、九州農政局では、農地、農業用施設の被災状況の把握と早期復旧に向け、災害トリアージを皮切りに、地質官や査定官の派遣などを通じ、年末までに被災箇所の災害査定を無事終えることができました。被災後の多忙の中、災害トリアージに対応頂くとともに、計画的かつ確実な査定準備を進めた被災自治体職員の皆様、また、佐賀県農林水産部及び農林事務所の皆様の早期復旧のための迅速な取組に、改めて厚く御礼申し上げます。

当事業所では地域の防災・減災に寄与できるようクリークの改修整備を進めています。クリークは干潟の発達、干拓を繰り返しながら、佐賀平野が形成、発展してきた歴史を物語る生きた証人であり、佐賀平野に血管のように張り巡らされた地域の利水、排水、治水を守る広大なクリーク農業水利システムは、この地域特有の農業遺産といえます。近年は、令和元年佐賀豪雨、令和2年7月豪雨、昨年は令和3年8月豪雨と毎年のように豪雨災害が頻発する中、流域治水との視点で、クリークの役割、大切さ、事前排水が注目を集めるようになり、改めてクリークが、そこに住む住民の生活を守る、防災・減災の生命線ともいえる重要な社会インフラであることを、地域社会に再認識頂いているものと思います。

事業では、我が国有数の軟弱地盤である有明粘土の上に形成された土水路や木柵主体のクリーク水路を、地盤改良とブロックマット敷設により改修し、将来にわたり貯留機能12百万m^3を確保・維持するとともに、クリーク末端に設置された排水樋門から601m^3／s、排水機場から413・8m^3／sにも及ぶ安定した排水を円滑に維持できるよう努めています。平成24年度に事業に着手して以降、皆様方のご協力を頂きながら、計画総延長173kmの改修に対し、今年度で112km、64・9%の進捗状況となってまいりました。本年もクリークの整備推進を通じ、地域の防災、減災に貢献するため、事業所職員一丸となって取り組んで参る所存であり、皆様方にはなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

市民の豊かな暮らしの実現に向けて

佐賀市長　坂井　英隆

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、昨年10月に佐賀市長に就任しました。市民の皆様の豊かな暮らしの実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

今年のテーマとしては、大きく次の2点を挙げています。

1点目は、情報発信力の強化です。定例的な記者会見の実施や多様なメディアの活用によって、市民の皆様にスピーディーに情報をお届けします。

2点目は、AI等の最新技術の活用です。市の業務のデジタル化推進や市内企業のDX支援により、市民の皆様の利便性向上と地域経済の活性化につなげます。

その上で、次の4つの柱で施策を推進していきます。

まず1つ目の柱は、「すべての市民に安全と安心を」です。特に、水害対策とコロナ対策に取り組みます。水害対策では、ハードとソフトの両面から排水対策に取り組み、浸水状況をリアルタイムで市民の皆様に提供します。また、コロナ対策では、3回目のワクチン接種をスムーズに進め、医療体制についても市医師会との連携を密にしていきます。

2つ目の柱は、「子どもたちに豊かな未来を」です。子育て環境の充実に力を入れるとともに、デジタル技術を駆使して「一人も取り残さない」教育に取り組みます。

3つ目の柱は、「働く人・事業者に豊かさと安心を」です。企業誘致や地域経済の振興を図ります。

4つ目の柱は、「最新技術などを活用してすべての市民に暮らしやすさを」です。公共交通の整備やビッグデータを活用した健康長寿のまちづくりにも力を入れます。

さて、公共事業関連に目を向けますと、市内においては2つの高規格道路の整備が着々と進められております。

有明海沿岸道路（大川佐賀道路）におきましては、現在、（仮）早津江川橋の整備や、諸富地区における改良工事等が進められているところです。令和4年度には、いよいよ福岡県側から早津江川を越えて（仮）諸富インターチェンジまでの区間が開通予定となっており、九州佐賀国際空港とも連携したさらなる観光交流や物流促進が期待されます。また、この有明海沿岸道路と嘉瀬地区で繋がる佐賀唐津道路（佐賀道路）におきましては、令和2年6月に着工後、現在は地盤改良工事等が進められているところです。

佐賀県の広域道路ネットワークの重要な路線であるこの2つの高規格道路や本市で行っているアクセス道路の一日も早い完成に向けて、国や県と連携・協力しながら、整備促進に努めてまいりたいと思います。

今年一年が皆様にとりまして、明るく幸多き年になりますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

切断・穿孔・静的解体・専門工事業
◆耐震診断・補強
◆鉄筋探査・検査
◆ダイヤモンド穿孔工事
◆舗装版等切断工事
◆静的解体工法工事
◆電動カッター（200V）
◆地中埋設管レーダー探査
DCC Diamond Corporation
有限会社 ダイヤモンド工業
一級土木施工管理技士・住宅性能評価士
代表取締役　山中正清
本社　〒840-0008　佐賀市巨勢町大字牛島258-1
TEL 0952-29-3596　FAX 0952-29-3598
http://www.daiamondo.com
E-mail kase@daiamondo.com
（嘉瀬営業所）〒840-0863　佐賀市嘉瀬町大字十五386-1
TEL 0952-41-7611　FAX 0952-41-7613

九州の森林から生まれたコンパネ
グリーン購入法特定調達品目
チサンコート
針葉樹塗装型枠用合板
●合法木材適合
●軽くて加工しやすい
●アクが出ません
九州産材100%の合板メーカー
●サイズ／12㎜×900㎜×1800㎜　●樹種／ヒノキ、スギ
新栄合板工業株式会社
HPからお気軽にお問合せください　shin-ei-style.co.jp　新栄合板工業　検索

「人・自然・街の未来」技術で拓く夢がある。県民の安全で安心な暮らしの実現に向けてサポートします
公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
Saga Construction Technology Support Organization
理事長　王丸義明
佐賀市鍋島町大字森田912番地
TEL 0952-97-5595　FAX 0952-97-5602　https://www.sagacat.or.jp/

一般社団法人 佐賀県産業資源循環協会
会長 篠原　隆博　副会長 松尾　文則　副会長 釜﨑　博昭
〒849-0921 佐賀市高木瀬西5丁目14-1 TEL 0952-37-7521 FAX 0952-37-7522
URL https://saga-sanpai.or.jp
廃棄物の再資源化に取組み、循環型社会の形成に貢献しています